

7月14日の大雨における日向神ダム洪水操作の状況について

● 洪水操作(ダム下流河川の増水を緩和させる操作)

◆7月13日～14日の大雨により、ダムへの流入量は、過去最大の毎秒約1005立方メートルに達しました。

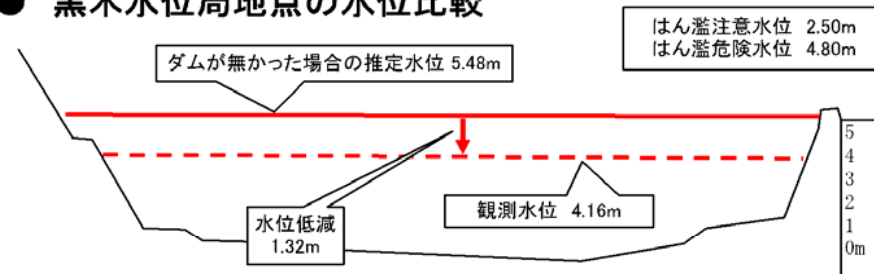
◆7月14日3時17分より、日向神ダムへ流れてくる水量の一部を貯めて、ダム下流の河川へ流す水量を最大で約6割低減させる操作を実施しました。

◆ダム下流の黒木水位局でみると、この操作により、今回の大雨による河川の最高水位を約1.3メートル低減させたと推測されます。仮に、日向神ダムがなければ、はん濫危険水位を約0.7メートル超えていたため、破堤により八女市黒木町付近で大規模な浸水の危険性があったと考えられます。

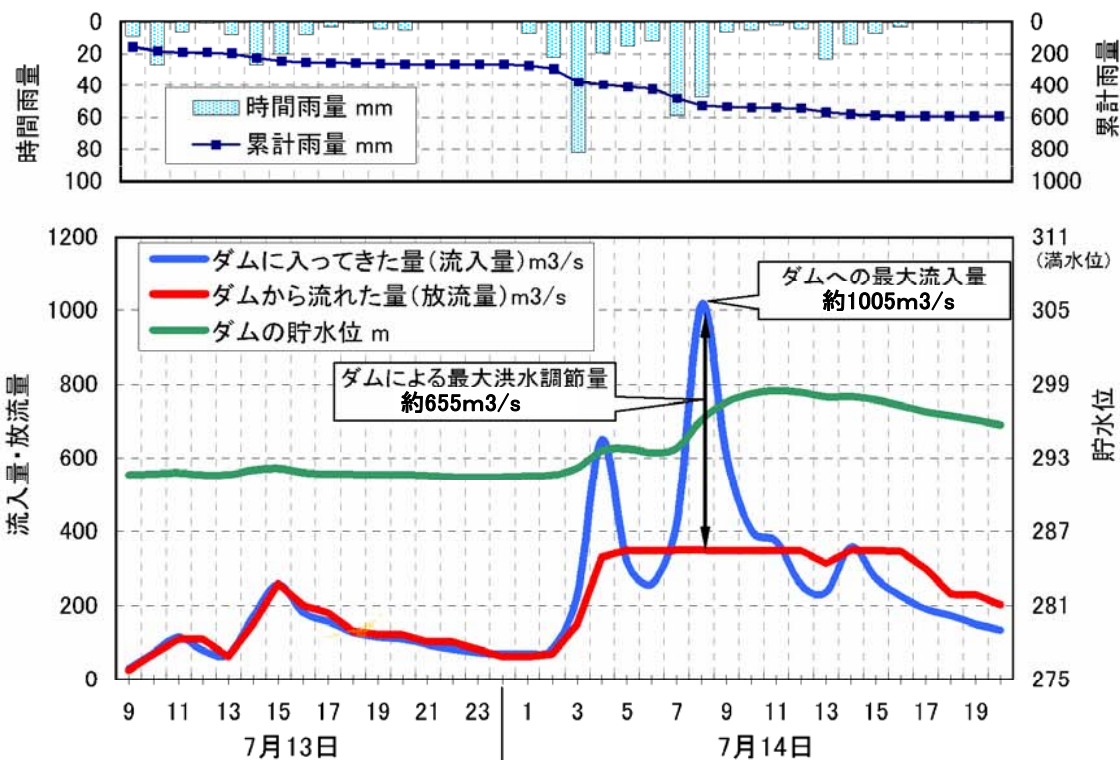
● ダム位置図



● 黒木水位局地点の水位比較



● 日向神ダムの諸量および降雨量(ダム上流宮ノ尾地点)



※ 数値は速報値のため変わる可能性があります。